

**2025 年度男女共同参画センターはあもにい
第 1 回運営審議会 議事録**

1. 2025 年 7 月 9 日(水)10:00~12:00
2. 熊本市男女共同参画センターはあもにい 4F 会議室
3. 出席者
 - ◆ 運営審議会委員(8 名 五十音順)
阿部広美委員 安楽美代子委員 井手志保委員 小野由里委員
北村眞理子委員 松本充右委員 宮村飛伸委員 森紀子委員
 - ◆ オブザーバー
熊本市文化市民局人権推進部男女共同参画課 課長 田端歩、主査 内田加奈子
 - ◆ 事務局
 - ・代表企業A 尾池千佳子(九州綜合サービス株式会社 代表取締役)
 - ・構成企業B 畑中雄治(熊本産業文化振興株式会社 常務取締役)
河野正治(熊本産業文化振興株式会社 事務局次長)
 - ・構成企業C 藤井宥貴子(有限会社ミューズプランニング 代表取締役)
 - 館長:吉田稀世
 - 副館長(兼 総務管理課課長):田中誠一
 - 舞台事業課:課長 安藤陽介
 - 維持管理課:課長 寺本祐矢
 - 企画事業課:課長 榊育代、主任 岡田佳子、鈴木与施子、松山凜歩、矢野佳代
 - 総務管理課:吉川里美
 - ナイスライ(中学生)5 名
4. 会次第及び議事内容
 - (1)代表あいさつ(はあもにい管理運営共同企業体代表 尾池千佳子)
 - (2)館長あいさつ(館長 吉田稀世)
 - (3)審議会委員および出席者紹介
 - (4)審議
 - 議題 1 はあもにい管理運営状況について
 - ・会館運営状況報告
 - ・事前質問からの回答
 - ・質疑応答
 - 議題 2 令和 6 年度事業報告、7 年度事業計画について
 - ・質疑応答
 - ・事前質問、相談 1・相談 2 からのご意見紹介
 - 議題3 その他 ・質疑応答

5. 特記事項

議事録の署名に関しては、井手委員、北村委員が推薦され、議会承認となった。

6. 議事録

議事進行:松本委員

● 議題 1

(副館長)資料 3 ページ～19 ページ説明

● 議題 1 質疑応答・審議

<別紙参照> 事前質問からの回答

森委員、松本委員、北村委員、宮村委員から、会館に関する質問をいただいた。(別紙参照)

・来館者数と日数稼働率が共に減少している理由を知りたいというご意見について。

➡メインホール天井改修工事に伴い稼働減少したのが主な理由。

・トイレについて、洋式化してほしいというご要望が多いが、期間などはどのようにお知らせしているのかとの質問について。

➡大規模改修に合わせて対応する予定と回答している。

・サンライフの閉館とはあもにいの機能集約についてスケジュールを教えて欲しいとの質問について。

➡後ほど熊本市男女共同参画課から、その他の議題でご説明いただく。

・会館の利便性を高められないか。例えば、情報資料室の本返却時、ロータリーに駐車し出入口付近に返却ボックスを設置するなど工夫できないかとの質問について。

➡来館された方から質問があれば、その場で説明や案内をしている。駐車スペースを特定するというのは、玄関前が障害者用駐車場になっているため難しい。

(松本委員)工夫して利便性を高めて欲しい

・来館者比率の集計について、20代、30代、40代、50代の男性の割合を知りたいという質問について。

➡今後アンケート項目を増やして調査していきたい。

(森委員)これはクロス集計すれば分かるのではないか。

(副館長)集計方法を工夫したい。

・前回質問があったリピート状況について

➡メインホールは 100%、多目的ホールは 92.6%とリピート率が高い。はあもにい全体の利用者では、リピート率が 81.8%。新規利用者は 73 件だった。(別紙参照)

(松本委員)アンケートについて、回答内容はまとめて公表しているのか。
(副館長)集約して回答している。会館内、HPなどで内容を公開している。
(森委員)いつ頃まで改善されるかなどの期間を示せばよいと思う。

(小野委員)

・3号線の反対側に無料駐車場があることが初めて来た利用者には分かりにくい。満車表示が出た際に、無料駐車場の存在を運転中でも見えるようにして欲しい。
・第2、第3駐車場が常に開いているわけではなく、有料駐車場が満車になってから奥の第1駐車場を開ける運用になっていることを知らなかった。基本的に開けておくなど、運用方法を工夫して欲しい。
・申し込み時に現地支払いを促されるが、振込もできるので、両方の選択肢をきちんと案内して欲しい。
・受付専用のメールアドレスがなく、FAXか郵送か来館の三択で、時代に合わない。早急に改善して欲しい。
・無料駐車場へのアクセスだが、3号線を右折しないと無料駐車場に行けないので、交通量が多い3号線を右折するのは難しく感じる人もいる。
(副館長)右折の問題については、安全のため左折して先の信号でUターンするよう案内している。今後案内の徹底と地図配布を強化したい。
受付のメール対応と振込案内については、すぐに対応できることなので急ぎ進めたい。

● 議題2

(榊課長)

・資料21ページ～24ページ、事業報告は前回審議会で報告していないものについて説明
・資料25ページ～27ページ、事業計画(案)について前回審議会で説明した方向性に加え、修正、新しく決まったものを説明
・報告:全国女性会館協議会「スライド1枚で見せる”イチオシ事業大賞」にエントリー。第2位に入賞した。内容は、「これからの男性の生き方、高橋源一郎氏講演会」の講座について男性のみを集めることにこだわらず、講演会にどなたでも参加可能としたところ、177人中、男性86人(48.6%)となった。初めてはあもにいに来た男性も多かったことを1枚のスライドにして応募した。男性を86人集客できた成果を評価された。

● 質疑応答・審議

(松本委員)事業計画は熊本市男女共同参画基本計画(資料1ページ)の中でHP記載の重点項目(3.4.6.8.9.11.14.15.18)と連動しているか。
(館長)18の「DV相談体制の強化と被害者の自立支援」に関しては、会館では担えない分野のため、相談窓口などを案内している。

(宮村委員)21 ページ「映画〇月〇日区長になる女」のイベント参加者の年齢層(若年層の参加率が低かった)に課題があるとのことだが、他の講座に関してもどういうところに告知しているか？

(館長)女性活躍推進に取り組んでいる企業リストがあり、そこに登録している企業に案内を郵送、窓口があるところには個別に案内をしている。また、学校や大学の広報窓口に郵送メールをしたり、個人的につながりがある先生に声掛けをしている。

(宮村委員)つながりがあるところだけでなく、広く告知をして欲しい。

(松本委員)大学の授業やレポートで参加を促す形や、大学コンソーシアムを通じた働きかけも有効ではないかと思う。

(阿部委員)昨年実施された LGBTQ の講座の満足度が低いように見えるが、どんな内容だったのか。また今年度はどのような企画を予定しているのか。

(館長)講座内容は充実していたが、興味の度合いが異なる参加者がいたためかもしれない。今年度は、啓発にとどまらず他自治体の事例を踏まえた講話を検討。またより実践的な内容にし、熊本市の職員対象にした講座にできないか検討している。

(松本委員)スキルアップ講座、特に Canva(デザインソフト)の基礎講座は応募率 220%と大人気だったようだ。こうした人気講座を複数回開催する可能性はあるか。

(館長)会館の目的はあくまで男女共同参画の推進であり、単なる技術習得に終わらせず、働き方やライフスタイルの幅を広げることに繋がる講座を目指したい。

(井手委員)27 ページのラジオ出演について、継続している理由や内容について聞きたい。

(館長)指定管理者となって初年度から広報の一環として予算を組んでおり、会館の周知や事業内容、目的などを発信している。職員だけでなく、中高生や大学生、市民グループなどにも出演してもらうなど連携の機会としている。

(安楽委員)応募率が高いワークライフバランスや起業支援、キャリアスキルアップの講座に注目し、「男女共同参画」というよりも「女性活躍推進」という視点で企画を進めてはどうか。特に再就職講座の扶養範囲内、年収の壁にとっても興味がある。「扶養の壁」を越えて働くことのメリットなど、女性の教育に力を入れて欲しい。

(小野委員)25 ページ「これからの男性の生き方に関する講座①②」について、対象が男性(積極的な参加)になっているが、昨年度の男性向け講座の成功事例を元に、今年度も男女関係なく募集をかける予定か。

(榊課長)昨年成功を踏まえ募集方法は検討したい。

(阿部委員)扶養の壁には男性側からの抑圧もあること、男性が育児に積極的になれば出生率が上がるというデータもある。男性の家庭内での男女共同参画を促す視点も重要だと思う。また、企業が従業員を雇う際の労働法(育児介護休業法など)に関する知識が不足していることも問題。「人を雇う側」向けの講座開催も検討して欲しい。

(北村委員)26 ページに記載がある通り、はあもにいと第一幼稚園連携で父子向け工作講座を予定し進めている。父親が子どもの行事に参加することで、子どもが嬉しそうにする姿を見て、父親自身の自己肯定感も高まる。このような機会を増やすことは、小さなコミュニティ形成

にも繋がり、家族や地域全体で子どもを支えるエネルギーになると感じている。

<別紙参照> 相談 1 からのご意見紹介

(小野委員) コロナの終わりかけにウィメンズカレッジを修了した。私自身、修了生との交流を切望している。ただ、修了生のネットワーク構築にあたって、「繋がりにくい人は繋がれないような仕組み作り」が重要だと思う。私自身の団体で LINE グループ上でネットワークビジネスのような勧誘トラブルがあった。LINE のオープンチャットなど、個人間の直接連絡を防ぎつつ交流できるツールの活用を勧める。

(松本委員) 宮村委員からあったウィメンズカレッジの名称について、見直すことも検討する時期ではという意見があげられているが。

(館長) 今はまずウィメンズカレッジを浸透させ、修了生のネットワーク構築などで認知度を上げることを目指し、その上で次のステップで名称変更も検討したい。

(宮村委員) 大事にされているコンテンツでもあるのですぐに変更を希望しているわけではない。時代の流れも加味し、今後男性も一緒に参加できるような講座になれば裾野を広げられるのではないかと思うので、一案として提案した。

<別紙参照> 相談 2 からのご意見紹介

(館長) HPに関して、前回の審議会でも情報が見つけにくいなどのご指摘があった。現在改修に取り組んでいる。より見やすくするために、言葉遣いや表現も気をつけていきたい。

「やさしい日本語の普及講座」も大変興味深いので、そのような取り組みも検討していきたい。

● 議題 3 質疑応答・審議

(熊本市男女共同参画課)

はあもにいの大規模改修、サンライフの解体、そしてサンライフの機能をはあもにいに集約する方向で検討が進められている。

- ・まずは利用者や地域住民との合意形成を図り、今年 9 月議会での報告、承認を目指している
- ・今後のスケジュール案(順調にすすめば)
- ・令和 7 年度(2025 年度):基本計画の委託予算要求
- ・令和 8 年度(2026 年度):基本計画策定
- ・令和 9・10 年度(2027・2028 年度):基本・実施設計
- ・令和11・12年度(2029・2030年度):大規模改修

- ・令和 13 年度(2031 年度):はあもにいのリニューアルオープンを考えている。
- サンライフの解体は、はあもにいのリニューアル後(令和 13 年度以降)になるため、サンライフは令和 12 年度(2030 年度)までは開館している。
- ・はあもにいに集約する機能については、今年度中に概要を検討し、特に避難所や卓球スペースを設けるなどといった改修に影響がある部分は優先的に議論する方針。
- ・改修内容の詳細は令和 8 年度の基本計画で検討されるが、トイレの洋式化など、利用者からの要望が多い点は取り入れていく。
- ・はあもにいが休館する 2 年間についても、これまでの男女共同参画推進の機運が途絶えないよう、指定管理者が行ってきた啓発事業は市からの業務委託という形で継続できないか検討している。
- ・現在、サンライフのあり方については 7 月 18 日までアンケート調査中で、8 月中には利用者や地域住民への説明会も予定している。

(阿部委員)来年 5 月に施行される、改正民法の共同親権について学べる講座の開催をぜひ検討して欲しい。

(北村委員)広報や周知方法について、紙媒体(アナログ)も引き続き重要だと思っている。特に、「よくある Q&A」のような紙資料を、駐車場案内などと一緒に配布することで、利用者の疑問を解消し、よりスムーズな利用につながるのではないかと思う。

(森委員)共同親権を導入する民法改正や、扶養の壁の見直しなど、重要な法改正や社会の変化に合わせて、タイムリーに、かつ分かりやすく、私たちの生活にどう影響するかを伝える企画を積極的にやって欲しい。